

# 専攻建築士紹介



(株)都市建築設計事務所  
デザインタンク

**山中誠一郎**

〔まちづくり専攻〕

〔設計専攻〕

## 「専攻建築士制度と社会の認知」

専攻建築士には2004年3月に「まちづくり」と「設計」の2分野で登録いたしました。私の事務所は小さな専門設計事務所です。地域に密着した個人住宅や中小ビルのご設計監理を中心に仕事をして26年たちます。これらの仕事を続ける中で、20年ほど前、地元の商店街のまちづくりに参加する機会がありました。東京都のモデル商店街事業第1号でした。この仕事をきっかけに、共同化事業によるまちづくりも行いました。密集した老朽住宅地を、住民のコミュニティーを壊さずに再生するという事業でした。その後も、地域のまちづくり基本方針策定や地区計画を地域住民と共に考える活動などを行ってきました。建築士がまちづくりに関与することの良さは、まちの姿を具体的に描くことだと思います。今後も建築の設計監理と同時進行で、地域に根差したまちづくり活動を目指したいと考えています。

建築士会では建築相談委員会に所属し、建築士会と一般社会との貴重な接点で活動させていただいています。毎週月曜日の建築相談室には一般市民や会員の建築士が疑問や悩み、要望など様々な相談で来室されます。その内容は欠陥建築問題、工事代金などの問題や、優良な設計者、監理者を紹介してほしいという要望まで幅の広いものです。この活動の一環として毎年7月には東京建築士会主催で一般市民を対象とした「市民フォーラム」を開催し、家作りの基礎知識や弁護士を交えた建築相談会などを行っています。現在、この仕事を縁に、複数の行政機関で建築紛争処理の仕事も行っています。

これらの活動を通じて、一般の人々に建築士を評価する物差しの一つとして専攻建築士制度やCPDの説明をするようにしています。しかし、専攻建築士制度はまだ一般の人々には知られていないようです。今後、建築士と専攻建築士制度、CPD（継続研修）の関係を建築士会が中心となって広く一般社会に対して、積極的に広報していく必要を強く感じています。